

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-91	高等学校	公民科	公共	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
46 帝国	公共 046-901	高校生の公共		

1. 編修の趣旨及び留意点

今日の社会の急速な変化を捉えながら、平和で民主的な国家及び社会の形成者として自ら学び考えるために必要な資質・能力を育成できる公民科の教科書を目指して編修した。特に、公共的な空間のなかで主権者及び自立した契約主体として求められる、①さまざまな課題を自らの問題として正対し解決しようとする意欲・関心と、②その課題に対して自分なりに判断していくために必要な資質・能力を、確実に身につけることができるよう留意した。

2. 編修の基本方針

○教育基本法第2条に示される教育の目標を達成するために、下記のような基本方針に基づいて編修した。

1) 公共的な空間の形成者として社会に対する関心を高め、課題に対する理解を深める教科書

- ・社会に対する関心を高められるよう、各本文ページに実社会と学習項目をつなげる導入事例を設置したり、本文記述に具体例やたとえを用いたりして分かりやすさを追求した。
- ・学習項目を実社会で活用する意識を養えるよう、「私たち」という言葉を用い、学習者に向けた「学習課題」を各本文ページに設置した。
- ・基礎・基本を着実に定着できるよう、見開きで習得した知識を確認・活用できる「確認」、「説明」の問いを設置した。
- ・第1部においては、社会に参画する際に選択・判断するための手掛かりとなる考え方や、公共的な空間における基本的原理などの概念理解のためのページを充実させ、第1部の学びを生かして第2部以降の学習が進められるような構成にした。
- ・第2部においては、法や政治、経済に関わる13の事柄や課題を主題として教科書の節に対応させ、各節において主題を意識した学習が展開できる配列構成とした。

2) 公共的な空間の形成者として社会に参画するための思考力・判断力を育成する教科書

- ・教科書全体を通して、公共的な空間における他者との関わり、多様性の尊重、社会参画、キャリア形成を意識して編修を行った。
- ・第1部には、実社会の諸課題の解決策について選択したり、判断したりするための視点や方法を適切に働かせることができるよう、特設「『公共』の見方・考え方」を設置した。
- ・第2部には、公共的な空間における主権者として必要な資質・能力を育成することができるよう、法や政治、経済に関する事柄や課題に関連する13の主題ごとに、特設「実社会の諸課題」を設置した。
- ・公共的な空間における主権者及び自立した契約主体として必要な、生活に役立つ実践的な知識を習得できるよう、特設「18歳へのステップ」を設置した。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1部 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち	○誰にでも個性があることや、多様性の価値や重要性に関する内容を充実させることで、個人の価値を尊	p.10-17、 22-23

	<p>重し、その能力を伸ばす意識を喚起することができるよう配慮した（第2号）。</p> <p>○働くことの意義と社会参画に関する内容を充実させることで、勤労を重んずる態度と、自主及び自律の精神を養うことができるよう配慮した（第2号）。</p> <p>○公共的な空間の特徴やその空間をよりよくするための関わり方について考える場面を数多く設置することで、主体的に社会の形成に参画する意識を養うことができるよう配慮した（第3号）。</p> <p>○男女雇用機会均等法や男女共同参画社会基本法などを取り上げるとともに、多様な性のあり方を含めたダイバーシティ、インクルージョン、エクイティの考え方を扱うことで、男女の平等や自他の敬愛と協力について幅広く学習することができるよう配慮した（第3号）。</p> <p>○日本の伝統文化について、身近な年中行事や通過儀礼、伝統芸能と関連させて具体的に学習できるようにすることで、伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。</p>	<p>p.20-21</p> <p>p.10-21、 24-25</p> <p>p.14-15</p> <p>p.18-19</p>
<p>第2章 公共的な空間における 人間としてのあり方・生き方</p>	<p>○古代ギリシアから現代に至る先哲思想を用いながら、公共的な空間でよりよく生きるための指針を各所に示すことで、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮した（第1号）。</p> <p>○幸福や正義、公正、義務論や功利主義をはじめとする概念や考え方を選択・判断の手掛かりとして、実社会の具体的な課題に向き合う事例を充実させることで、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。</p> <p>○環境問題や生命倫理に関わる実社会の具体的な課題について思考実験などを絡めて取り上げることで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第4号）。</p>	<p>p.26-39</p> <p>p.26-39</p> <p>p.26-27、 36-39</p>
<p>第3章 公共的な空間における基本的原理</p>	<p>○個人を尊重することの重要性を扱うことで、自主及び自律の精神を養うことができるよう配慮した（第2号）。</p> <p>○近代立憲主義の考え方を重点的に扱うことで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。</p> <p>○誰でも平等に生活できる社会を目指すことの重要性を示すとともに、平等を実現する制度の妥当性を考察させる事例を扱うことで、男女の平等や自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。</p>	<p>p.46-55、 58-59</p> <p>p.40-43</p> <p>p.46-47、 58-59</p>

	○自由・権利の尊重と責任・義務を果たすことの意義を取り上げることで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。	p.46-55
第2部 よりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 私たちと法 第1節 法や規範の意義と役割 第2節 契約と消費者の権利・責任 第3節 司法参加の意義	○公共的な空間における法や社会規範の意義や役割について重点的に扱うとともに、実社会の具体的な場面や課題に関わる事例を充実させることで、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うことができるよう配慮した（第1号）。 ○契約時の注意点や消費者保護法制について具体的な場面を用いて詳しく扱うことで、自主及び自律の精神を養うことができるよう配慮した（第2号）。 ○裁判員制度と検察審査会等の意義やしくみの扱い、模擬裁判から司法判断について考えるテーマを充実させることで、司法参加を通じて主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。	p.64-69 p.70-75 p.76-83
第2章 私たちと政治 第1節 政治の役割と政治参加 第2節 主権国家と国際政治 第3節 日本の安全保障と防衛 第4節 国際社会の課題と日本の役割	○公共的な空間における政治と権力、主権や国家、安全保障の意義やそのあり方について重点的に扱うことで、その理解を促し、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うことができるよう配慮した（第1号）。 ○選挙制度や国会の課題に関する事例などを積極的に取り上げることで、政治参加を通じて主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。 ○高校生がよりよい社会の形成に向けて政治の場面で活動している具体的な事例を取り上げたり、それらを促したりすることで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。 ○国際協力と日本の役割に関する学習のなかで、人間の安全保障やSDGsについて考える事例を数多く取り上げることで、生命の尊さの重要性を持続可能な観点から捉える態度を養うことができるよう配慮した（第4号）。 ○日本の領域や排他的経済水域について国際法に基づいていることを丁寧に説明し、また注目される地域を一つ一つ取り上げることで、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。 ○国際的な人権保障に関する扱いや、SDGsの目標達成について具体的に考えさせる場面を充実させることで、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。	p.88-89、 110-111、 122-125、 130-131 p.90-91、 96-109 p.88-105、 108-109 p.126-131、 134-135 p.110-113 p.116-117、 130-131、 134-135

<p>第3章 私たちと経済</p> <p>第1節 市場経済の機能と限界</p> <p>第2節 金融の働き</p> <p>第3節 財政の役割と社会保障の課題</p> <p>第4節 労働者の権利と雇用・労働問題</p> <p>第5節 社会の変化と職業選択</p> <p>第6節 経済のグローバル化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市場経済や金融、経済社会における政府の役割や、国際経済の意義やしくみを重点的に扱うことで、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うことができるよう配慮した（第1号）。 ○労働者の権利や労働市場における課題に関する取扱いを充実させるとともに、求人票を読み解いたり、労働条件について考えさせたりするテーマを設けることで、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮した（第2号）。 ○情報通信技術の発達や産業構造の変化を前提とした、職業選択や企業活動について考えさせる場面を充実させることで、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮した（第2号）。 ○情報化や少子高齢化、グローバル化などの社会変化を背景とした課題や事例を積極的に取り上げ、経済社会における課題の解決策を選択したり判断したりする活動を通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。 ○外部不経済や高度経済成長などの歴史を扱うことで、経済の視点からも、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第4号）。 ○企業は利潤追求だけでなく、環境問題への取り組みや文化活動への貢献、適切な情報公開などが期待されていることに触れることで、企業活動と関連させて、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第4号）。 ○ODAをはじめとする国際的な格差是正に向けた取り組みや、変動相場制への移行や貿易摩擦などの歴史を扱うことで、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。 	<p>p.140-141、156-159、164-165、192-193</p> <p>p.174-181</p> <p>p.182-185、190-191</p> <p>p.162-163、172-173、208-209</p> <p>p.142-144、186-189</p> <p>p.146-147</p> <p>p.204-207</p>
<p>第3部 持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <p>課題探究学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○課題探究学習を通じて、創造的な活動を自主的に行うことで、個人の能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるよう配慮した（第2号）。 ○実際に課題探究学習を行い、その成果を発表する高校生の事例を示すことで、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。 ○「これからの日本の発電エネルギーはどうあるべきか」をテーマに課題探究学習を展開することで、主体的に社会に参画し、これからの日本のあり方について、具体的な提案ができるよう配慮した（第3号）。 	<p>p.214-225</p> <p>p.214-215</p> <p>p.216-227</p>

	○生命倫理や地球環境問題などを課題探究学習の事例として扱うことで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第4号）。	p.224-225
--	---	-----------

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・教科書全体を通して、QR コンテンツを充実させ、個別最適な学びに対応できるようにした。「判例解説」「戦後史にアクセス」「動画」「NHK for School」「外部リンク」「法令集」は学習内容に対する興味・関心を喚起したり、理解を補ったりすること、「一問一答」「用語解説」は学習内容の定着を促すこと、「見通し・振り返りシート」「特設ワークシート」「思考ツール・白地図」は学習の実践と記録を補助することを目的として、効果的に学習することができるよう配慮した。
- ・社会に対する関心を高められるよう、各本文ページに実社会と学習項目をつなげる**導入事例**を設置したり、本文記述に**具体例**や**たとえ**を用いたりして分かりやすさを追求した。
- ・巻末資料には、日本国憲法や民法、刑法、労働基準法などの各種法令を取り上げ、生活に関わるさまざまな法令を確認できるようにした。
- ・色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色を使うよう配慮した。本文やキャプションなどの文字については、文字をはっきりと読み取ることができるユニバーサルデザインフォント（UD フォント）を使用した。
- ・造本においては、環境に配慮し、かつ鮮明に発色し裏写りがしない用紙を使用した。また、インキは再生産が可能な植物由来の油などを原料とするライスインキを使用した。さらに、使用期間に破損することがないよう堅牢なつくりにした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-91	高等学校	公民科	公共	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
46 帝国	公共 046-901	高校生の公共		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

今日の社会の急速な変化を捉えながら、平和で民主的な国家及び社会の形成者として自ら学び考えるために必要な資質・能力を育成できる公民科の教科書を目指して編修した。特に、公共的な空間のなかで主権者及び自立した契約主体として求められる、①さまざまな課題を自らの問題として正対し解決しようとする意欲・関心と、②その課題に対して自分なりに判断していくために必要な資質・能力を、確実に身につけることができるよう留意した。

1) 公共的な空間の形成者としての資質・能力を身につけられるようにした。

- ・教科書全体を通して、**実社会の具体的な課題**を積極的に扱い、課題に対するさまざまな立場の人の意見や主張を数多く取り上げることで、物事を多面的・多角的に考察することができるようにした。
- ・教科書全体を通して、**高校生の活動事例**を数多く取り上げ、社会に参画することの意識を高めることができるようにした。
- ・単元のまとまりごとに設定した第1部の「**章の問い**」や第2部の「**節の問い**」、各見開きに設定した「**学習課題**」は、いずれも学習内容と、「私たち」という学習者自身との関わりを意識した内容とし、その問いや課題に取り組むことによって、社会参画に向けた態度形成を促すことができるようにした。
- ・各本文ページの導入部分には、現実社会と学習内容をつなげる具体例（**導入事例**）を設置し、写真やイラスト、グラフ、表などの資料を読み解きながら、学習内容に対する興味・関心を高めることができるようにした。
- ・本文においては、社会的事象のしくみや概念が分かるように因果関係を明確にしたり、具体例を挙げたりしながら、**分かりやすく平易な文章**で記述した。また、用語についてはその定義を端的に示すよう心掛けた。さらに、本文内容を補足する「**補足解説**」と「**WORD**」も数多く設置した。これにより、学習内容に具体的なイメージをもち、正確な理解を図ることができるようにした。
- ・主に単元の冒頭や末尾の本文においては、**公共的な空間と学習事項の関わり**を示す記述や、**社会参画の意義**に関する記述を積極的に盛り込み、社会の形成者としての自覚や能力を涵養できるようにした。
- ・QRコンテンツには「**動画**」「**判例解説**」を収録し、現代史の映像資料や、実社会における争訟のビジュアルな解説を通して、学習意欲を高めるとともに、教科書本体の学習を補完できるようにした。

2) 主権者や自立した契約主体として必要な事項を分かりやすく学習できるようにした。

- ・教科書の判型をワイドな **AB判**として、図版や写真、コラム、補足解説を充実させて、深い学びのための知識を多方面から補完できるようにした。
- ・第1部、第2部の各章、第3部の冒頭には「**部(章)の見通し**」ページを設け、単元の学習に対する興味・関心を高めつつ、学習の見通しを立てることができるようにした。
- ・第1部、第2部の各章の末尾には「**部(章)の振り返り**」ページを設け、図版の空欄補充や思考ツールを用いた考察を通して、各単元の学習を振り返ることができるようにするとともに、学習評価にも活用しやすいよう構成した。

- ・ 特設「**18歳へのステップ**」を設置し、主権者や成年者として必要となる、生活に役立つ実践的な知識を習得できるようにした。
- ・ 特設「**なるほど解説**」を設置し、抽象的な概念や理論などについて、図解や具体例を用いて解説することで、知識の定着と深い理解を図ることができるようにした。
- ・ 各見開きには、学習を見通し、社会とのつながりを意識させる「**学習課題**」、学習内容を振り返る「**確認**」、具体的な課題やテーマについて習得した知識を用いながら思考を深める「**説明**」の三つの問いを設置し、本文や図版を活用して、資質・能力を着実に身につけることができるようにした。
- ・ さまざまな立場の意見を端的にまとめた「**Yes No**」のコーナーを各所に設け、物事を多面的に捉え、多角的に考えることができるようにした。
- ・ 各見開きの本文には、行間に図番号、参照ページ、憲法条文などを付記し、本文の深い読み取りと理解を促すようにした。
- ・ QRコンテンツに「**判例解説**」「**戦後史にアクセス**」「**動画**」「**NHK for School**」「**外部リンク**」「**法令集**」を収録し、学習内容に対する興味・関心の喚起、理解の補完ができるようにした。また「**一問一答**」「**用語解説**」を収録し、個人の習熟度に合わせて学習内容の定着を図れるようにした。さらに、学習の実践と記録を補助するため「**見通し・振り返りシート**」「**特設ワークシート**」「**思考ツール・白地図**」も収録し、学習効果をより高めることができるようにした。

3) 第1部では、課題解決において働かせる「**視点や方法**」を身につけられるようにした。

- ・ 特設「『**公共**』の**見方・考え方**」を設置し、幸福や正義、公正といった概念的枠組みや、義務論、功利主義をはじめとする選択・判断の手掛かり、人間の尊厳と平等、民主主義などの基本的原理を理解し活用することで、第2部以降の学習に活用できるようにした。
- ・ 青年期の特徴や悩み、多様性のあり方、キャリア形成や先哲思想に関する学習を通して、**自己と他者、自己と社会の関わり**について自ら考えることができるよう、身近な事例を数多く取り扱った。
- ・ 「共有地の悲劇」などの「**思考実験**」を通して、人々の多様な主張や利害が複雑に絡み合っている社会を単純化してその課題の本質を捉え、人間としてのあり方・生き方を考察できるようにした。

4) 第2部では、実社会のさまざまな課題を主題として、**社会制度の確かな理解と課題解決に向かう思考力・判断力を育成**できるようにした。

- ・ 学習指導要領で示された法や政治、経済に関する13の事柄や課題を主題として教科書の節に対応させ、各節において**主題に沿った学習**が展開できる配列構成とした。
- ・ 第2部以降の本文記述においては、第1部で学習した公共的な空間のあり方に対する認識を前提として、**よりよい社会の形成に参画する意識**を高められるよう配慮した。
- ・ 特設「**実社会の諸課題**」を各節末に設置し、実社会の具体的な課題について、第1部で身につけた「**視点や方法**」を活用しながら解決策を考察させることで、主体的・対話的で深い学びが達成できるようにした。
- ・ 特設「**戦後史にアクセス**」を設置し、戦後の日本と世界の政治・経済の歩みを振り返りながら、習得した知識を整理できるようにした。また、歴史科目とのカリキュラム・マネジメントを図れるよう配慮した。
- ・ 各章の「**振り返りページ**」では、章や節の学習を踏まえて探究したい課題を記述させる問いを設けており、第3部で学習者が探究課題を設定しやすいよう配慮した。

5) 第3部では、この科目の学習のまとめとして、**実践的な取り組みを通じ、持続可能な社会を形成する主体としての資質・能力を身につけられる**ようにした。

- ・ 課題の設定、情報の収集と読み取り・分析、レポートの作成方法などの**課題探究学習の流れ**を手順ごとに丁寧に解説した。その際、「**これからの日本の発電エネルギーはどうあるべきか**」をテーマとして、具体的に課題探究学習の流れを示した。
- ・ 「**探究課題例**」では、各領域を横断して総合的に探究できる具体的なテーマとして、人口減少問題、生命倫理、地球環境問題、情報を取り上げた。

2. 対照表			
図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第1部 公共の扉			
第1章 公共的な空間をつくる私たち	A(1)公共的な空間を作る私たち	p.8-9、60-61 p.10-25	2 6
第2章 公共的な空間における人間としてのあり方・生き方	A(2)公共的な空間における人間としての在り方 生き方	p.26-39	4
第3章 公共的な空間における基本的原理	A(3)公共的な空間における基本的原理	p.40-59	7
第2部 よりよい社会の形成に参画する私たち			
第1章 私たちと法	Bア(ア)、(イ)及びイ(ア)	p.62-63、84-85	2
第1節 法や規範の意義と役割		p.64-69	2
第2節 契約と消費者の権利・責任		p.70-75	2
第3節 司法参加の意義		p.76-83	2
第2章 私たちと政治	Bア(イ)、(エ)及びイ(ア)	p.86-87、136-137	2
第1節 政治の役割と政治参加		p.88-109	6
第2節 主権国家と国際政治		p.110-119	4
第3節 日本の安全保障と防衛		p.120-125	2
第4節 国際社会の課題と日本の役割		p.126-135	3
第3章 私たちと経済	Bア(ウ)、(エ)及びイ(ア)	p.138-139、210-213	2
第1節 市場経済の機能と限界		p.140-155	4
第2節 金融の働き		p.156-163	2
第3節 財政の役割と社会保障の課題		p.164-173	4
第4節 労働者の権利と雇用・労働問題		p.174-181	2
第5節 社会の変化と職業選択		p.182-191	2
第6節 経済のグローバル化		p.192-209	6
第3部 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 課題探究学習	C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	p.214-227	4
			計 70 時間